



## Beyond KUSS, 2022 !!



### 先輩たちの状況(その1)

8回生にとって、7回生は「あこがれの先輩」だったでしょうか。そして、みなさん8回生も「あこがれの先輩」に成長していますか。後輩たちから「あこがれの先輩」として記憶に残るよう、最高学年として、残り少なくなった学校生活を過ごしてください。

#### ◆◇◆ 国公立大学特別選抜(その1) ◆◇◆

本校では3回生より国公立大学特別選抜受験者(合格者)が急増し、4回生以降も同様です。7回生でも、この点については同じ傾向を示しています。

3回生と4回生のみ、現在の「『志』特別選抜」を実施する準備として、神戸大学と本校の間で研究入試が実施されま

	7th	6th	5th	4th	3rd	2nd	1st
卒業生数	135	160	174	160	135	137	142
国公立合格者数	65	56	63	54	36	27	31
国公立合格率	48.1	35.0	36.2	33.8	26.7	19.7	21.8
特別選抜合格者数	19	12	20	14	19	4	1
特別選抜占有率	29.2	21.4	31.7	25.9	52.8	14.8	3.2

した。その影響もあり、3回生では国公立大学特別選抜に注目が集まりました。ちょうど、前年度より東京大学の推薦選抜、京都大学の特色選抜がスタートしたところでした。3回生は、神戸大学の研究入試以外に、東京大学推薦選抜、京都大学特色選抜にも合格者が出ました。これを機に、本校では国公立大学特別選抜が多くの生徒に受験機会の1つとして周知されることとなりました。8回生でも国公立大学特別選抜に高い関心をもって人がいるのではないのでしょうか。

本校は全員が個人で卒業研究(課題研究)に取り組んでいる、全国規模でも珍しい学校です。SSHやSGHに指定されるよりも前、本校設立以来取り組んでいます。そういう点では、国公立大学特別選抜と親和性は非常に高いです。しかし、本校が特別選抜の受験を勧めているわけではありません。卒業研究(課題研究)に取り組むことにより、大学での学びをスムーズに進めていくために必要なリサーチリテラシーを身につけ、大学での学びの課題を自覚したうえで、本校卒業後のステージに立ってもらいたいと考えています。

卒業研究(課題研究)に取り組むことにより、「第1志望」を設定するための重要な契機としてもらいたいと考えています。その結果、「第1志望」に設定した大学の選抜方法に特別選抜がある場合は、受験することを支援します。特別選抜を利用することを前提にしているのではなく、結果として特別選抜を利用することになります。

「第1志望」はA大学だけれど、B大学の特別選抜が合格しやすそうだからB大学の特別選抜を受験するというようなことは、本末転倒の状況です。「第1志望」は、現在の成績状況がどんなによくても、悪くても、その合格をめざし、最後まで全力を尽くすことができる学校です。特別選抜ありきの、大学選び、受験校選びは、絶対にやめましょう。

受験生心理として、「合格したい」という気持ちが働くのは当然のことです。「学びたい・めざしたい」大学と「合格できる可能性が高い」大学、両者のバランスで悩む受験生は多いです。特別選抜の出願を考える際、このバランスが崩れていないか、慎重に考えましょう。受験は様々なバランスの上に存在しています。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いいたします。